

科研・特定領域「核融合炉トリチウム」総括班会議 議事メモ

日時：平成21年4月27日、14:00～15:30

場所：核融合研・研究1期棟・4階、402会議室

出席者（敬称略）：田辺、西川、上田、大宅、寺井、山西、波多野、朝倉

議事：

1) 20年度報告書について

- ・中間評価のヒアリング用資料として活用することを想定。
- ・報告書の作成要領は19年度に作成した進捗状況報告書と基本的に同じ。
- ・各班長は19年度から21年度の8月時点までの進展状況及び研究成果を年度ごと、研究項目ごとに整理する。
- ・各研究項目の連携状況、研究費の使用状況（設備の有効活用、研究費の効果的使用を含む）についても実績をベースに記載内容を工夫いただく。
- ・総括班評価者による評価は依頼済み。
- ・20年度の報告書は製本しないでCD化して配布予定。HPにも掲載。

2) ニュースレターの発行について

- ・20年度の成果を要約して「8号」として発行予定。
- ・引続いて、C班の活動状況を「9号」として発行。

3) プラ核学会誌へのプロジェクトレビュー投稿について

- ・6月末までの執筆で対応依頼中。

4) 中間成果報告会（8/28 - 29）の開催要領について

- ・各班ごとの進捗状況と目標達成に向けての具体的な研究推進計画を紹介いただく。最終年度終了時に示せるであろう完成図があるのが望ましい。
- ・上記推進計画の中で、公募研究の位置づけを明確にしてほしい。
- ・上記計画研究および公募研究方針をベースに、全体としての連携推進の内容を具体的に検討。
- ・プログラムを別途調整して作成。

5) 公募について

- ・1件あたりの予算を平均化する方向で見直す。
- ・公募の件数は採択数の2倍以上が必要。
- ・継続申請のほかに、新規の応募を積極的に働きかける。
- ・環境生物分野の研究も公募に含める方向で検討する。

- ・現状の公募文案の検討を各班で行う。(申請時の公募文案参考)
現在のものはB01班とB02班の研究課題の違いがわかりにくいので、表現の見直しが望ましい。例えば、B01班が「システム」、B02班が「材料」であればわかりやすい。
- 6) 来年度計画研究の班構成について
 - ・各班共に、特に変更の必要は無いとの判断。
- 7) 班相互の連携について
 - ・8月の中間評価報告会で十分時間をかけて議論する。
- 8) その他
 - (1) 原子力学会秋の大会(9月16 - 18日)でのシリーズ発表
 - ・波多野先生から、「透過防止膜」をテーマにしたシリーズ発表の企画提案があった。発表対象を広げる観点から「透過量評価と透過防止」のテーマで企画を進めていただくことになった。
 - (2) ICFRM - 14のサテライトミーティングの企画
 - ・波多野先生から富山大学で企画・開催の提案があった。原子力学会の日程を考慮して、9/14、15AMで日程調整をした。

以上。

